

山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会

規 約（改正案）

平成 20 年 7 月 7 日制定

平成 23 年 3 月 18 日一部改正

平成 27 年 3 月 3 日一部改正

（名 称）

第 1 条

本会は「山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会」（以下「委員会」という。）と称する。

（目 的）

第 2 条

委員会は、鹿野川ダム改造事業が周辺環境に与える影響及び山鳥坂ダム建設事業環境影響評価に基づく環境保全措置、事後調査等に関する事業者へ助言を行うことにより、自然環境への影響の低減を図ることを目的とする。

（役 割）

第 3 条

上記目的を達成するため、以下の事項に関する指導・助言を行う。

- ①鹿野川ダム改造事業について環境面から考慮すべき項目及び調査予測・評価等に関する検討
- ②山鳥坂ダム建設事業環境影響評価に基づく環境保全措置、事後調査等について具体的手法、結果の分析・評価等に関する検討

（組 織）

第 4 条

1. 委員会は、別紙の 8 名の委員をもって構成する。
2. 委員長は委員の互選によって選出し、委員会を統括するものとする。
3. 必要に応じ、委員長の指名する委員を追加することができる。

（委員会）

第 5 条

委員会は、第 2 条の目的を遂行するために必要と認めた場合、別紙「山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会構成」以外の者の出席を求めることができる。

（委員の任期）

第 6 条

委員の任期は、原則として委嘱のあった日から、四国地方ダム等管理フォローアップ委員会のモニタリング部会設置の日までとする。

(事務局)

第7条

1. 委員会の事務局は、国土交通省四国地方整備局山鳥坂ダム工事事務所とする。
2. 事務局は委員の指示を受け、委員会の事務を行う。

(公開)

第8条

委員会は、原則公開とし、委員会資料及び議事録については公表する。
ただし、貴重種の位置情報等は貴重種保護の観点から非公開とする。

(雑則)

第9条

この規約に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

(附則)

本規約は、平成27年3月3日から施行する。

山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会

構 成 (平成27年3月時点)

委員 (敬称略)

【委員】	荒井 秋晴	九州歯科大学	准教授
【委員】	石川 和男	松山東雲女子大学	名誉教授
【委員】	伊福 誠	愛媛大学	名誉教授
【委員】	大森 浩二	愛媛大学	准教授
【委員】	酒井 雅博	元愛媛大学	教授
【委員】	芝 実	松山東雲短期大学	名誉教授
【委員】	松井 宏光	松山東雲短期大学	名誉教授
【委員】	三宅 洋	愛媛大学	准教授

事務局

国土交通省 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所